

大牟田市役所

大牟田市は 1917 年に市制施行したが、最初の大牟田市役所は、1933 年に焼失した。

現在の鉄筋コンクリート製の市役所は 1936 年に完成した。

外観は当初、フランク・ロイド・ライトが設計した東京にある帝国ホテルと同じ種類の縦に溝の

入った煉瓦でタイル張りされていた。中央塔と左右対称の 2 つの翼棟からなる建築様式は戦

前の政府庁舎の典型的なものである。

1 階は一部地下になっており、公式な入口は 2 階にある。中央の階段は大理石製である。

市長の執務室と会議室は 3 階にある。4 階にはかつて VIP ルームがあり、南アジアの影響を

受けたデザインの、アーチ型天井、カーテンボックス、暖炉が備え付けられていた。VIP ルームは

現在市の職員オフィスに改装されている。

第二次世界大戦中、炭鉱や工場を標的としたアメリカ軍の焼夷弾爆撃により、大牟田市の

大部分が破壊された。市役所にも爆弾が落ちたが、爆発はしなかった。市役所の屋上には、

機関銃の台座と航空監視用の囲いの跡が今も残っている。

大牟田市役所は、国の登録有形文化財に指定されている。